

2021 年(令和 3 年)度

第 2 回東京都細胞検査士会役員会議事録

記

未だ CoViD-19 の勢いが治らず、変異型ウイルスが猛威を奮い緊急事態宣言も延長されました。このような社会情勢の中、2021 年度第 2 回役員会を WEB 形式にて開催した。

日 時: 2021 年 6 月 12 日(土) 17:00 ~ 18:00

開催方法: WEB 会議

出席者: 青木裕志、阿部仁、浅見英一、五十嵐清子、池畠浩一、和泉智子、稻垣敦史、梅澤敬、岡俊郎、河村淳平、岸本浩次、窪田知美、郡秀一、小松京子、笛井伸哉、佐々木陽介、鈴木美那子、濱木康雄、関根正喜、宅見智晴、寺尾暁子、中島研、三宅真司、濱川真治、町田知久、向山淳児、藪下竜司、

監事: 石井保吉、庄野幸恵

委任状: 古田則行、片山博徳、藤山淳三、金室俊子、鎌田久美子

欠席者: 中島弘一、葉山綾子、若槻よしえ

(敬称略、50 音順)

I. 開会

会則第 38 条により、過半数の役員の出席により 2021 年度第 2 回東京都細胞検査士会役員会が成立することを庶務代表幹事宅見氏より報告された。(役員 35 名中 27 名出席、委任状提出 5 名、欠席 3 名)

II. 議長選出

三宅会長より議長として庶務の宅見が指名された。

III. 議事

議 題

審議事項

1. 2020 年度事業報告
2. 2020 年度決算報告
3. 2020 年度会計監査報告
4. 東京都細胞検査士会会則第 1 章総則(事務所)第 2 条 の変更について
5. 学術研修会の次期実施委員長について
6. IT 委員会の設立について
7. 新役員人事

審議事項

1. 「2020 年度事業報告について」

各委員会より提出された 2020 年度事業報告について審議をお願いします。

2020 年度学術委員会事業報告

1) 第 55 回東京都細胞検査士会学術研修会

開催日: 2020 年 6 月 20 日(土)

会 場: 杏林大学 井の頭キャンパス F 棟 309 室

内 容: 教育講演 2 演題

症例検討 3 題

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となりました。

2) 第 56 回東京都細胞検査士会学術研修会

開催日: 2021 年 3 月 20 日から 4 月 11 日(日)

会 場: Web 開催 参加登録者: 652 名(3 月 31 日)

研修会内容:

・特別講演「産婦人科医としての細胞診へのかかわり方 ~私の場合~」

東京医療センター産婦人科 2021 年度東京都臨床細胞学会会長 山下 博先生

・教育講演「事の始まりは NC 比 80%」—語弊を考える—

がん研有明病院 付設細胞検査士養成所 古田則行 技師

・教育講演「高異型度尿路上皮癌を見極めるためのステップ」

公立長生病院 診療技術部検査科 西周裕晃 技師

・症例検討 婦人科、泌尿器、乳腺 3 題

2020 年度 広報委員会 事業報告

1) ホームページ(HP)の管理、掲載

学会・研修会の案内、役員会の議事録などを掲載した。

2) 子宮の日の活動

街頭で予定していた「2020 LOVE 49 キャンペーン」は COVID-19 感染拡大の影響で中止となった。3000 部の資料等は各施設にお願いし配布してもらった。

以下、配布協力施設

東洋公衆衛生学院、帝京短期大学、東京都がん検診センター、東京医科大学病院、
東京医大八王子医療センター、武藏村山病院、病体生理研究所、国立がん研究センター
中央病院

3) がん患者大集会への協力

第 16 回がん患者大集会は COVID-19 感染拡大の影響で ZOOM ウェビナーによるオンライン配信となったため、現地参加はしなかった。

2020 年度 総務委員会 事業報告

東京都細胞検査士会会則ならびに内規の見直しと修正の提案
慶弔規程案の提案

2020 年度 国際委員会 事業報告

2020 年からの Covid-19 の影響により国際活動は全て中止になった。

2020 年度 庶務委員会 事業報告

- 1) 2020 年度役員会議事録作成、みなし会議を含む(第1回・第2回・第3回・第4回)
- 2) 2020 年度総会議事録作成(第1回)
- 3) 役員会・総会、準備、運営(第1回)
- 4) 第 56 回学術研修会 演者・座長委嘱状の発送・学会単位申請

承認され総会報告議案となった。

2. 2020 年度決算報告(添付資料 1)

東京都細胞検査士会 2020年(令和2年)度 会計報告

収入の部

科 目	収 入
第55回 研修会参加費	- 中止
第56回 研修会参加費	- Web開催 参加費なし
東京都臨床細胞学会助成金	750,000
日本臨床細胞学会子宮の日助成	50,000
前年度継越金(土屋基金含)	5,544,830
利子	68
合計	6,344,898

支出の部

科 目	通信運搬費	旅費交通費	印刷製本費	消耗品費	消耗什器 備品費	臨時雇 賃金	会議費	交際 接待費	諸謝金	雜費	諸経費	支払負担金	2020年度 決算額	2020年度 予算額	増 減
本部経費							22,000			1,300			23,300	133,000	109,700
学術委員会								65,000		1,540			66,540	315,000	248,460
国際委員会													0	56,000	56,000
広報委員会	68,132												68,132	464,282	396,130
総務委員会													0	27,000	27,000
庶務委員会	1,458		24,312							110			25,880	85,000	59,120
東京都学術集会積立金												300,000	300,000	300,000	0
合計	69,590		24,312				22,000	65,000		2,950	300,000	483,852	1,380,262	896,410	
収入合計															
支出合計															
総合計(次年度継越金)															

* 東京都臨床細胞学会学術集会積立金40万円含

上記の通り相違ないことを承認致します。

2021 年 5 月 18 日

会計監査 石井保吉(印)
会計監査 庄野幸恵(印)

承認され総会承認議案となった。

3. 2020 年度会計監査報告

石井・庄野監事より、2021 年(令和 3 年)5 月 18 日に会計監査を行い領収書、帳簿等を監査し適正に運用されていること、また、適正に事業が行われていることを確認した報告があった。

承認され総会報告議案となった。

4. 「東京都細胞検査士会会則第1章総則(事務所)第 2 条 の変更について」

* 療研有明病院法務・知財室担当者様より、事務局として実体のないのに名前だけ会則に記載するのは避けた方が良いとの指摘を受け継続審議となった会則変更が再審議された。

現行	変更案
第1章総則 (事務所) 第 2 条 この会は、主たる事務局を東京都江東区有明 3-8-31(公益財団法人)がん研究会有明病院臨床病理センター細胞診断部内に置く。	第1章総則 (事務所) 第2条 この会は、主たる事務局を東京都千代田区飯田橋 3-11-15 6 階、 <u>株式会社クバプロ</u> に置く。

承認され総会承認議案となった。

5. 学術研修会の次期実施委員長について

第 58 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長 岡 俊郎
第 59 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長 町田知久
第 60 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長 郡 秀一
第 61 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長 五十嵐清子
第 62 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長 五十嵐清子
第 63 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長 池畠浩一
第 64 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長 池畠浩一

承認された。

6. IT 委員会の設立について

学術代表幹事より IT 関連に精通した会員を役員会に選出し、『IT 部門』を設置するはどうか。提案があり、審議を行った。

下記の意見が出された。

- 新しく IT 委員会を立ち上げるよりも広報委員会内に IT 部門を設置し責任者をおくことで、総会承認もなく広報の内規変更だけで可能であり、迅速な対応も可能となる。
 - 郡さんに負荷が多くかかっている。
 - 学術研修会の進め方が複数の委員会に関わり分かりにくい。
 - 役員のメンバーを増やすことも可能か？今後、新役員を途中で入れることも可能であるのではないか。
- ◎ 広報委員会内に『IT 部門』を設置して迅速な対応を可能とすることで意見がまとまり決議を行った。

承認された。

7.新役員人事

瀧木康雄、阿部 仁、笹井伸哉、五十嵐清子、宅見智晴、岸本浩次、古田則行、町田知久、三宅真司、青木裕志、浅見英一、岡 俊郎、郡 秀一、中島 研、藤山淳三、池畠浩一、和泉智子、稻垣敦史、小穴良保、押本綾子、金室俊子、河村淳平、佐々木陽介、鈴木美那子、関根正喜、田邊一成、寺尾暁子、濱川真治、葉山綾子、藤田大貴、向山淳児、薮下竜司、若槻よしえ、（役員 33 名）

承認され総会承認議案となった。

以上